

※参加者の皆様から事前にいただいた意見・要望の中で、当日意見交換ができなかった案件の回答です。

①保育園・幼稚園		
意見・要望等		回答要旨
1	○重症心身障害児の保育園、地域校での受入体制の充実について (小中学校のジャンルでも重複 「地域校での受入体制の充実」) 小中学校 No.1	【保育園】 ・受入体制については、お子さんの状況を踏まえ、受入れができるよう体制を整えています。 【学校】 ・医療的ケア児の受け入れは数校ではありますが、重症心身障害児の受け入れの例は、現時点で地域校では見られません。
2	○保育の質について 保育の質を意識していますか？	・公立保育園・幼稚園では、子どもの主体性を尊重し、子どもと保育者が信頼関係でつながり、非認知的な力(挑戦する力、根気強さ、思いやり、人とかかわる力など)を育み、自己肯定感を高めていく保育を理念とし目指しています。 ・具体的には、大きく4つの視点で保育環境を常に意識し、整えていくことで保育の質の向上を図るようにしています。 (1) 施設環境や室内外の遊具等の物的環境 (2) 園児の生活全般、保健衛生、安全面からみた環境 (3) 園児の体験や遊びの環境 (4) 子ども同士との関わり、保育者との関わり、地域など、園児を取り巻く人的環境
3	○公立保育園の牛乳提供を選択制に アレルギーの有無に関わらず選択制にして欲しい。	・公立園では、日本人の食事摂取基準に基づき、園児の性別・年齢別・身長・体重等を考慮し算定しています。 ・牛乳を飲まないことで成長に必要な栄養素が摂れなくなります。 ・食物アレルギー対応は、医師の指示に基づいて実施していますが、誤食は命にかかわることがあり、アレルギー児を守り事故を防ぐためにも、煩雑になる対応はできません。 ・牛乳が苦手な場合は、少量にする、残すことができます。
4	○保育園の保護者負担を減らしてほしい 保育園、小学校の保護者負担を減らしてほしい。 (小・中学校のジャンルでも重複 「小学校の保護者負担」) 小・中学校No.13 長期休み期間の給食無しは、意味がわからない。	・希望保育期間中に提供する場合、約2か月前に利用人数の把握、アレルギー対応の確認、食材発注などをする必要があり、保護者にも早めに予定を立てていただくことになります。 ・急なキャンセルがあった場合、食材を無駄にすることが予想されます。
5	○発達障がい児の受け入れについて 私立保育園に入園したが、入園後すぐに「転園してほしい」言われ、転園先を探したが、とても辛く大変な思いをした。 発達障がい児の受入可否を明確にすることはできないでしょうか？	基本的には障害児の受入体制はどの園でも整えることが可能です。

①保育園・幼稚園		
意見・要望等		回答要旨
6	○保育士の研修システムについて 特に未満児に対する保育の仕方（抱き上げ方や抱っここの仕方、おんぶ紐の使い方）がそれぞれ確立されていないので、一律で研修を受ける機会があるといい。	・未満児担当保育士を対象に、離乳食について、アレルギー、保育園の保健、事故防止、未満児保育で大切にしたいことなどの研修を行っています。 ・新人職員は、抱っここの仕方やおむつの替え方等については、園内で具体的なやり方を見ながら覚え、周りの職員からも指導してもらっています。 ・抱っこは個々に子どもがしてほしい体勢が異なる場合もあるので、安全面に配慮しながら、その子が安心できる体勢をとるように配慮しています。
7	①幼稚園の駐車場確保について 保育園は駐車場が確保出来ているが、幼稚園は駐車場がなく、通わせにくい印象がある。駐車場を他の施設と共有するような形で設けることはできないのか。 ②幼稚園の観劇代負担について なぜ保育園では観劇代が保育課から出ているのに幼稚園と小学校はPTAから観劇代を出すのか。観劇を教養の教育と考えるのであれば、予算から出して欲しい。小学校では都合で参加できない子は返金があったりするのは何か違うのではと思う。 （小中学校のジャンルでも重複 「小学校はPTAから観劇代を出す」） 小・中学校No.11	① ・公立3園は他の施設と駐車場を共有 ・公立において、本郷幼稚園は駐車場まで徒歩約8分。他園は幼稚園と駐車場が隣接。 ② 【幼稚園】 ・幼稚園の観劇に要する経費の負担については検討中です。 【小学校】 ・観劇の機会も含め、教育の内容は学校によって異なっているため、各学校では自校での教育活動に必要な経費負担を保護者をお願いしています。 ・PTAは任意団体であり、全員加入を前提としていないため、学年・学級一律の活動についての費用をPTA会費で充てるようなことは是正が必要であると考えます。
8	○公立幼稚園のHPをもっと分かりやすいものにして欲しい 検索してもほぼ情報(幼稚園内でどんな活動をしているか等)が分からない。 今の時代ネットで情報を探すのに何も情報が出てこなければそもそも入ろうと考えず園児が他に流れてしまう。 幼稚園を存続させる為にも工夫して欲しい。	・保護者にもご協力いただきながら、園内の様子等、幼稚園での生活や活動がわかるような内容のものとして随時HPを更新しています。 ・引き続き魅力的なHPの構築に努めます。
9	○保育園・幼稚園でも短期間通園できる、新たな制度を 松本デュアルスクール制度に合わせて、保育園幼稚園でも短期間在園できる制度があるといい	・デュアルスクール制度との大きな違いは、保育園利用の際は市内在住であることが必要です。 ・例外として、市外在住であっても一定の条件（里帰り出産など）の下で「広域入所制度」により利用できる場合があり、私立幼稚園では各園の判断の下、市外在住であっても入園可能です。
10	○今後の保育園事情について 移住者が増えている中、子どもの預け先である保育園がこれからどうなっていくのか。当事者としては、現状、認可外も厳しく、働く親にとっては預け先が少ないのは不安	・待機児童が発生している大きな要因は、保育士不足です。 ・保育士確保につながる政策や離職防止のための保育士の職場環境の改善に引き続き努めます。 ・3歳未満児の受け皿の拡大として、今後、民間の小規模な保育施設の開設認可も進めていきます。